

# ゆきの想い



## 見つめよう 自然のすばらしさ

秦 尚志



「うわあ、アリの怪獣だ」  
「ジャングルの中にいるみたいだ」  
これは、ネイチャーゲームの「ミクロハイク」という活動を行つてゐる時の子供たちの歓声です。このゲームは、虫眼鏡を片手に草むらの中や地面をはい回り、虫や草の葉裏や木肌を観察するという活動です。

私たちの学校では、昨年度から、環境教育の研究に取り組んでいます。身近な自然を生かしながら、自然のよさや不思議さに触れさせること

で自然を守つていこうとする児童を育てようと、様々な活動や授業に取り組んできました。ネイチャーゲームもその活動の一つです。

子供たちと一緒に、学校の中庭をはい回つて見ます。するとそこには、本当にアリの怪獣があごをむき出してこちらをにらみ、雑草はうつそと茂ったジャングルのように神秘的な雰囲気を醸し出しています。普段、我々が見向きもしなかつた所にも小さな生き物たちの素敵な、そして興味のそぞられる世界が広がっているのです。私も、子供たちと一緒にこうした世界に引き込まれ、時間の経つのも忘れてしまうのです。

これらの活動を通して、実は私自身も、自分の身近にこんな素晴らしい自然があつたのだということに改めて気付くことができ、今まで以上に自然、特に小さな生き物たちが身近になつたような気がします。今まで見過ごしていた草むらの中にも様々な生き物たちが息づいていると、事実に気付くことができたこと

一つを挙げても、環境教育とのうれしい出会いでした。

さらに、今まで環境教育といふと、大気汚染、オゾン層破壊といった地球規模の環境問題にのみ目が行き、自分たちの生活とはかけ離れたものととらえがちでしたが、今回の研究を通して、自分たちの足元を見つめ直すことの大切さを知ることができたのも大きな収穫でした。

もし、この研究に取り組まなかつたら、結局環境問題は自分とは関係のない問題だという考えのままでいた

と思います。しかし、今は自分たちの身近な自然を見つめ直し、そのままを守つていこうとする児童を一人でも多く育てることが、この豊かな地球を守つていくことにつながるんだと氣付くことができました。

これからも、「見つめよう自然の不思議、すばらしさ」を合い言葉に、子供たちと一緒に自然のすばらしさを満喫しながら、自然を大切にし、守つていこうとする子供を育てていきたいと思います。

(会津坂下町立坂下小学校教諭)

## 心のあいさつ

永井 美也子



しなければなりません。

「ハロー」まずはあいさつから始めなければなりません。空港のロビーや係の人やタクシーの運転手に、ホテルではボイやフロントマンなど、様々な人へのあいさつの場があります。その人たちにその時の私はどんな顔で話しかけていたのでしょうか。きっと、不安な様子だったと思ひます。でも、そのすべての人たちは、忙しいときでさえも、笑顔でやさしく接してくれました。そんな中で、

私は海外旅行がとても好きです。異国の方で、異国の文化、習慣に触れる、さまざまな人たちと接することも忘れててしまうのです。これらの方を通じて、実は私自身も、自分の身近にこんな素晴らしい自然があつたのだということに改めて気付くことができ、今まで以上に自然、特に小さな生き物たちが身近になつたような気がします。今まで見過ごしていた草むらの中にも様々な生き物たちが息づいていると、事実に気付くことができたこと